

令和元年度 第2回苫小牧市男女平等参画審議会会議録（概要）

1 日 時 令和2年2月7日(金) 13時30分～15時30分

2 場 所 苫小牧市民活動センター 4階 講習室A

3 出席者 審議会委員 8名（欠席者2名）

総合政策部協働・男女平等参画室（室長、主査、主事2名）

4 傍聴人 なし

5 記 者 1名

6 会議次第

（1）開会 （2）苫小牧市男女平等参画都市宣言文唱和

（3）議事 （4）閉会

7 議事概要

【議題1】 性の多様性を知り行動するためのサポートガイドラインについて

事務局より、職員向けガイドラインの策定を検討しており、目的や背景、ガイドラインの構成案について説明。（資料1）

【質疑応答】

●資料1 (P. 14) 市民への対応の申請書類の性別欄の取り扱いは具体的に進んでいくのか。

○現在、市役所内部の申請書類等の調査実施を検討している。法的根拠や本人確認としての要件など、性別欄の必要性の確認からスタートしたいと考えている。

●このガイドラインは、すでに職員に研修等の形で出しているものなのか。

○まだこれからの段階。まずは、ガイドラインの策定に向けて素案段階から審議会でご意見や御感想をいただきながら作成したいと考えている。

●例えば、職場での言動で傷ついているなどの相談を受けた場合は、どういう対応を想定しているか。

○実際の事例を参考に、相談を受けた後に、職員向けの研修や相談者に確認した上で、周囲のサポート体制を構築するなどを想定している。

【意見】

●性の多様性で、ある歌手の方をふと思い出した。先日「母」という曲を歌っているのを見て、きっとお母さんが自分の悩みを一番理解してくださっていたんじゃないかなと思った。人に話せない、人からどう思われるだろうという悩みも含めて歌を通して感じた。とても勇気のいることだろうなと感じた。

●人権の分野からも性の多様性は問題になっている。団体の中で、話題にはなるが、具体的な対応はしていなかったなので、わかりやすく伝えていきたい。今後は、動画や資料を使って、例えば幼稚園などで話をする機会をつくることができればと思う。

●所属している団体でも、昨年7月頃にLGBTの研修を行った。また団体で行っているデートDV防止出前授業のアンケートの中の性別欄に、去年の4月から「どちらでもない」という項目をつくった。その項目をつくる上で、それがいい言葉なのか、なぜちゃんとした言葉がないのかという意見が出た。「自認する性」という表現はすごくいいと思うが、性自認という言葉はまだ広く知られていないと思う。小学生ぐらいから、多様な性があるということを教育の場で、そして家庭からもアプローチできればと感じた。

●実際こういう場面にあったとき、まだその勇気がない。一般的なお話で、大体終わってしまう。

●以前、初めてLGBTの方と会ったときは正直ちょっとびっくりしたが、話している中で、他にいろいろな人たちと同じじゃないかなと感じた。当事者の方に初めて会って知らなかったと伝えたら、その方に、知らなかったのではなくて、知らうとしなかっただけでは。と言われてしまった。当時は世間の風当たりも強く、裁判でも、一部の人の話しというような雰囲気だった。

ただ、ちょっとずつではあるが理解を示す人も増えてきていると感じている。

紅白に出たミュージシャンの方のミュージックビデオに、同性カップルの映像が出ていて反響が大きく、ネットニュースで見た。批判的なコメントはほとんどなく、素敵などといったコメントが多かった。必要最低限の知識、情報を知っていく中で、偏見が少しずつ減っていくと思う。

●DV問題とLGBT問題は、だいぶ前から一緒に入ってきている。例えば男性が、男性のパートナーから被害を受けたと相談があったときに、今のシェルターで対応するか、それとも男性のDV相談を紹介するか。でもその人の性自認が女性であるとしたらどうするかなど、問題は多様である。どういう支援を組んだらいいか、法律相談の弁護士や、他の支援団体の方に聞いてみるとか、知識を補っていかないといけないと感じた。

●今日は最初から最後まで、当事者の立場で聞いたらどう思うか、想像力を使って聞いてみようと思っていた。申請用紙等の性別欄については、カミングアウトしている状態だったら、思いきり書けるだろうし、そうでなければ違うと思う。また、一部が行ったとしても、ここだけで聞かれてこの情報は一体どこで何に使われているのか不安になる。日本のどこに行っても、「自認する性を記入してください」と書き込みがあるのであればいいが、一部だけ、例えば市役所の一つの課だけにあっても、驚きで、かえって傷つくかなと思った。

●芸能人ではなく、身近にいる人でモデルが増えるといい。

●今まで当事者の人と会ったこともなければ、カミングアウトを受けたこともない。実際に、今後会ったときに自分がどう反応するのかは想像の域を出ない。

【議題2】 苫小牧市男女平等参画を推進する市民会議について

事務局より、市民会議の目的やこれまでの会議の経過を報告。また、会議の中で出た課題、今後の展望などについて説明。(資料2～4)

○苫小牧市女性人材バンクの登録者募集について、事務局から委員に周知協力依頼。